

特集 鯉江良二 橋本コレクションを中心に

2026.11.10[火]－2027.3.14[日]

鯉江良二(1938年生)は2020年8月6日にこの世を去るまで、やきものを中心に、多様な素材によるインスタレーションやパフォーマンスなど幅広く表現領域を横断し、メッセージ性の強い作品を発表し続けました。一方で鯉江ならではの器もまた多くの人を魅了してきました。本展示では鯉江と長きにわたり親交があった橋本龍史氏の器コレクションを中心にをご紹介します。



鯉江良二《白 英国手 輪と筒》1998年 個人蔵

開館時間 10:00－18:00

夜間開館 2026年10月16日(金)、11月20日(金)、2027年1月15日(金)、2月19日(金)は20:00まで
※ 展示室への入場は閉館の30分前まで

休館日 月曜日(祝・休日の場合はその翌平日)

観覧料 一般370円(310円)、大学生240円(180円) 高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証または
登録者証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで)は手帳提示により無料
*ミライロIDが利用できます

ギャラリートーク「鯉江良二を語る」

日時:11月28日(土)14:00－15:30(予定)

登壇者:橋本龍史(コレクター)、正村美里(近現代工芸研究)、内田鋼一(陶芸家)、鯉江 明(陶芸家)

